

卒業生に向けて～「自分の心に耳を傾けて自分らしく生きよう」～

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先日の三月二十五日、素晴らしい晴天の中、小規模ながら素晴らしい卒業式を迎えることが出来ました。一人一人が卒業証書を手渡され、小学校生活の区切りをしっかりと心に刻み込めたことと思います。また、式では涙の見た人も、式の後にはみんな楽しそうな笑顔で先生や友達と写真撮影をして別れを惜しんでいましたね。長く続く写真撮影の中で、先生や友達との別れというものが、少しずつ、皆さんの心の中に染み込んでいったのだと思います。

さて、そのような人生の一区切りを迎え、これからの長い人生に向かう皆さんに、私から次の言葉をお送りします。

「自分の心に耳を傾けて自分らしく生きよう」

今は色々な娯楽があり、暇な時間の過ごし方がたくさんあります。スマホに携帯ゲーム、本やテレビ、インターネット。ちょっとした空き時間でもこれらを使用することで楽しい時間に変えることが出来ます。ですが、その時間の1つをあえて何もしない時間してみてください。なにもせず、ボーっと過ごしてみるのです。その時、あなたの心に浮かんでくることはなんでしょうか。

「あの時楽しかったなあ」「また失敗しちゃったなあ」「そうだ、あれやっとかなきゃ」「今度はこうしよう」

一番気になっていることや、逆に、普段あまり意識していなかったことなどが、ポツポツと心の中に浮かんでくるのではないのでしょうか。そういったボンヤリとした一つ一つの思いつきの中に、皆さんの本音がきくと含まれているはずです。そんな思いつきにちゃんと耳を傾けて欲しいのです。(何年も前にやってしまった恥ずかしいことを思い出すこともあるでしょう。私はよくあります。そんな時は、もし同じことが起こったら次はこうしよう、と妄想を膨らませてください。少しは気が晴れます)

これからは、忙しい毎日や人間関係に流されて自分の気持ちを抑え込んでしまうことも多くなるでしょう。友達とのすれ違いで心の中に晴れないモヤモヤがたまってくるかもしれません。そんな時にこそ、自分がどうしたいのか、どうすべきなのかをゆっくりと自分に問いかける時間を取ってください。そして自分の思いを行動に移してください。そうすれば、何気ない日常でたまっていく心の中のモヤモヤが、少しずつですが、きっと晴れるに違いありません。

これからの人生、周りに流されるのではなく、心に浮かぶ小さな思いを自覚し、その思いを行動に移すことにより、あなたらしい人生をつかみ取って行って欲しいと思います。

卒業する皆さんの将来に幸多かれと願い、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございます。

令和二年三月三十日

南町小学校PTA会長 川上竜二